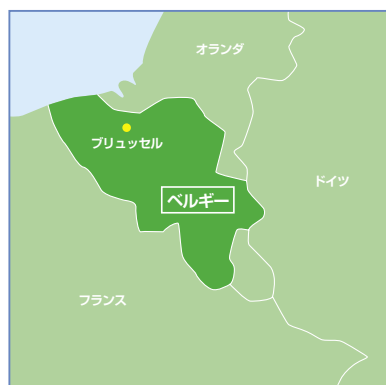


ベルギー資料

1. 社会一般



●ベルギーの概要

ベルギーの基本データ	
面積	3万528平方キロ
資源	銅
人口	1,046万人(2007年推定)
首都	ブリュッセル(人口103万1,000人)(2005年)
主要都市	アントワープ、ヘント、シャルルロワ、リエージュ、ブリュージュ
住民	北部のフラマン系58%、南部のワロン系31%、外国人8%超
公用語	オランダ語(北部)、フランス語(南部)、ドイツ語(東部)
宗教	カトリック教徒が約75%、プロテスタント、ユダヤ教、イスラム教
通貨	ユーロ(1ユーロ=約125円) 【旧ベルギー・フラン=約3円】
国内総生産	4,485億ドル(2007年)
一人当たり国民総所得	4万710ドル(2007年)

(「世界年鑑2009」共同通信社より作成)

●ベルギーの国家体制

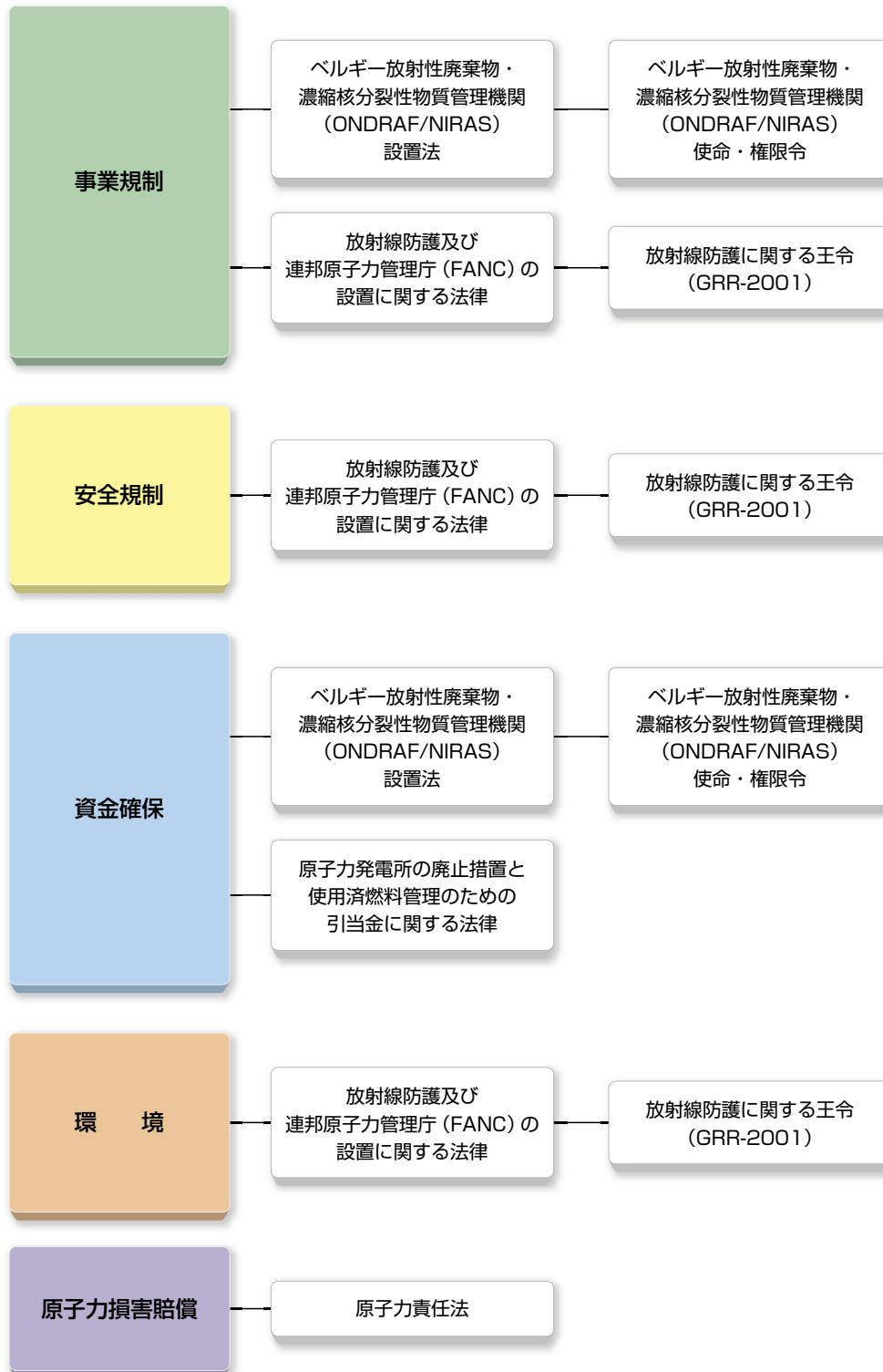
政治体制	立憲君主制、議院内閣	
元首	国王	
議会	2院制 下院(任期4年)、上院(任期4年)	
	下院(150議席)(2009年1月現在)	上院(71議席)
	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教民主フランドル党 23議席 ・ワロン系改革運動 23議席 ・ワロン系社会党 20議席 ・VLD 18議席 ・フラームス・ベラング 17議席 ・フラマン系社会党・スピリット 14議席 ・ワロン系人道的中道民主党 10議席 ・ワロン系エコロ 8議席 ・新フランドル同盟 7議席 ・フラマン系デッカー・リスト 5議席 ・フラマン系緑の党 4議席 ・ワロン系国民戦線 1議席 	
政府	組閣担当者が国王から指名され、原則として首相となる。	
司法	最高裁判所、高等裁判所、地方裁判所、国務院(行政裁判所)	

(「世界年鑑2009」共同通信社より作成)



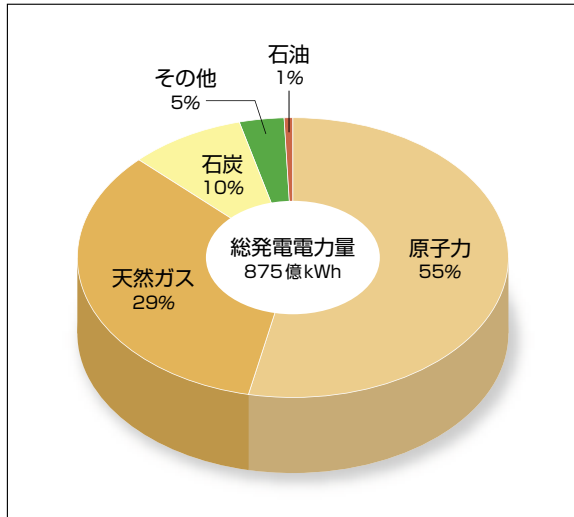
2. 処分に関わる法制度

●処分に関わる法令の体系図



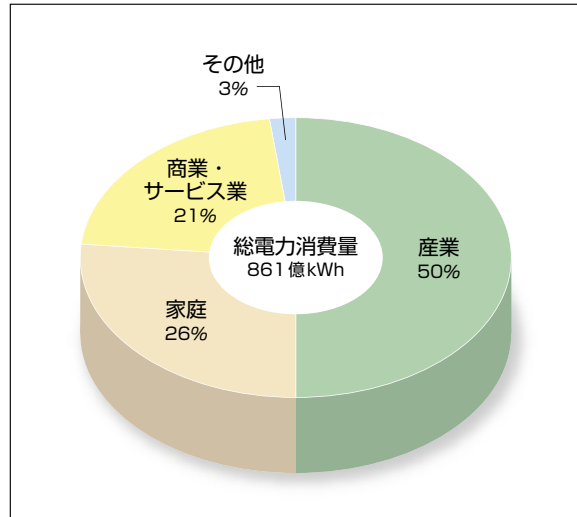
3. 電力供給構成と原子力発電

●ベルギーの電力供給構成 (発電量 - 2007年)



(Electricity Information 2009, IEAより作成)

●ベルギーの部門別電力消費 (2007年)



(Electricity Information 2009, IEAより作成)

●ベルギーの主要な原子力関連施設



	原子力発電所 (商業用、運転中)
	放射性廃棄物処分場
	地下研究所
	集中中間貯蔵施設



4. 放射性廃棄物

●放射性廃棄物の区分

区分	種類
高レベル放射性廃棄物 (カテゴリーC)	アルファ線・ベータ線放出核種を非常に多く含有し、発熱量が20W/m ³ を超える廃棄物
長寿命中低レベル放射性廃棄物 (カテゴリーB)	カテゴリーAの放射線基準を超えるが、発熱量がカテゴリーCよりも低い廃棄物
短寿命中低レベル放射性廃棄物 (カテゴリーA)	放射能レベルが低く寿命が短い放射性核種を含有し、浅地中処分可能な廃棄物

(放射性廃棄物等安全条約に基づくベルギー国別報告書 (第3回) より作成)

●高レベル放射性廃棄物の中間貯蔵

設備	所有者/運転者	受入廃棄物	廃棄物発生源
ベルゴプロセス社サイト内貯蔵施設 (デッセル)	ベルギー放射性廃棄物・濃縮核分裂性物質管理機関 (ONDRAF/NIRAS)/ベルゴプロセス社	ガラス固化体など	再処理施設など

(放射性廃棄物等安全条約に基づくベルギー国別報告書 (第3回) より作成)

●短寿命中低レベル放射性廃棄物の処分

ベルギーには、短寿命中低レベル放射性廃棄物処分場がないため、管理状況を記述 (2006年6月、デッセル自治体における処分場設置の閣議決定が公表された)。

廃棄物の種類	管理状況
再処理過程から発生する長寿命中低レベル放射性廃棄物、原子力発電所の運転廃棄物、大学・医療・研究施設で発生する中低レベル放射性廃棄物	ベルゴプロセス社サイト内貯蔵施設 (デッセル、モル) で貯蔵

(放射性廃棄物等安全条約に基づくベルギー国別報告書 (第3回) より作成)

●ベルゴプロセス社サイト内貯蔵施設



(ベルゴプロセス社ウェブサイトより引用)